

## 令和 2 年度病院構造改革推進方策実施状況の 自己点検・評価の結果について

病院構造改革を着実に推進するため、新公立病院改革ガイドラインに基づき、第 4 次病院構造改革推進方策の単年度の実施計画を定め、その実施状況について、毎年度、点検及び評価を行うこととしている。

令和 2 年度の実施状況についての自己点検及び評価の結果は下記のとおりである。

### 記

## 1 令和 2 年度の実施状況の自己点検・評価結果について

### (1) 概 要

#### ① 目 標

新型コロナウイルスの影響により、「(概ね) 計画どおり実施」の割合は 5 割強に留まった。

区分	○ (概ね) 計画どおり実施	△計画をやや下回った	▲計画を下回った	合計
目標数	15 (51.7%)	9 (31.0%)	5 (17.2%)	29

#### ② 取組項目

新型コロナウイルスの影響により「計画を上回る実施」又は「(概ね) 計画どおり実施」の割合は、6 割台に留まった。

区分	◎計画を上回る実施	○ (概ね) 計画どおり実施	△計画をやや下回った	▲計画を下回った	合計
項目数	36 (6.9%)	308 (59.0%)	65 (12.5%)	113 (21.6%)	522
項目数	344 (65.9%)		178 (34.1%)		

### 評価の考え方

#### 〔目標〕

評 価	考 え 方
○ (概ね) 計画どおり実施	・ 計画どおりに取組みを実施した項目 (取組項目の達成が 8 割以上)
△計画をやや下回った	・ 計画した取組みが一部遅滞、一部未実施の項目 (取組項目の達成が 6 割以上 8 割未満)
▲計画を下回った	・ 計画した取組みが未実施の項目 (取組項目の達成が 6 割未満)

#### 〔取組項目〕

評 価	考 え 方
◎計画を上回る実施	・ 計画以上の取組みを実施 (計画を 2 割以上上回って実施)
○ (概ね) 計画どおり実施	・ 計画どおりに取組みを実施した項目 (計画に比べ 8 割以上 1.2 倍未満の実施)
△計画をやや下回った	・ 計画した取組みが一部遅滞、一部未実施の項目 (計画に比べ 6 割以上 8 割未満の実施)
▲計画を下回った	・ 計画した取組みが未実施の項目 (計画に比べ 6 割未満の実施)

(2) 一 覧

資料2 頁	No.	目標	実施 状況	取組項目							○以上の 割合
				全項目数	◎	○	△		▲		
							うちコト を理由	うちコト を理由	うちコト を理由	うちコト を理由	
p 1	1	★緊急に対応すべき事案(新型コロナウイルス対応)	○	2	0	2	0		0		100.0%
p 4～	2	がん医療	△	70	5	41	10	9	14	12	65.7%
p 9～	3	循環器疾患医療	△	48	5	25	11	9	7	6	62.5%
p12～	4	糖尿病医療	▲	10	0	3	4	4	3	3	30.0%
p13～	5	精神医療	▲	23	3	8	7	6	5	5	47.8%
p16～	6	救急・災害医療	▲	37	4	11	4	4	18	18	40.5%
p19～	7	小児・周産期医療	△	21	2	11	5	4	3	3	61.9%
p21～	8	リハビリテーション医療	○	25	2	20	1	1	2	2	88.0%
p24～	9	その他の政策医療	△	31	5	17	4	2	5	5	71.0%
p27	10	統合再編・建替整備	○	7	0	7	0		0		100.0%
p28	11	診療機能の効率化	○	5	0	5	0		0		100.0%
p29	12	研究機能の充実	△	20	5	10	2	0	3	0	75.0%
p31	13	地域医療連携の推進	▲	62	4	23	9	8	26	25	43.5%
p36～	14	医療安全対策等の推進	△	10	0	7	1	1	2	2	70.0%
p38	15	患者サービスの向上	○	22	0	19	1	1	2	2	86.4%
p40	16	医療の信頼性の向上	○	5	0	5	0		0		100.0%
p41～	17	県民等への情報発信の推進	▲	37	1	16	3	2	17	16	45.9%
p43～	18	経営目標の設定と持続的な経営の取組	○	7	0	7	0		0		100.0%
p46～	19	患者の受入れ促進等	△	11	0	10	1	1	0		90.9%
p48～	20	診療機能に見合う収益の確保等	○	10	0	9	0		1	0	90.0%
p50～	21	その他の収益の確保	○	8	0	8	0		0		100.0%
p53～	22	費用の抑制	△	17	0	15	2	0	0		88.2%
p55	23	効果的・効率的な組織・人員体制の整備	○	2	0	2	0		0		100.0%
p56	24	医師確保対策の推進	○	11	0	10	0		1	1	90.9%
p57	25	看護師確保対策の推進	○	6	0	6	0		0		100.0%
p59	26	専門人材の充実・確保と人材育成の取組	△	10	0	6	0		4	2	60.0%
p60	27	働きやすい職場づくり	○	3	0	3	0		0		100.0%
p61	28	経営形態の検討	○	1	0	1	0		0		100.0%
p62	29	安定的な地域医療の提供	○	1	0	1	0		0		100.0%
合 計			○:15 △:9 ▲:5	522	36 6.9%	308 59.0%	65 12.5%	52 —	113 21.6%	102 —	65.9%

※ No. 19 は患者数が減少、No. 22 は給与費・材料費・経費比率が悪化したため、取組項目の達成状況は80%を超えているが、実施状況の評価は△とした

## 2 取組項目のうち計画を上回る実施となったもの【主なもの】

資料2 頁	取組項目	病院名	計画 → 実施	評価	理由 【コ】：新型コロナウイルスによるもの
<b>I より良質な医療の提供</b>					
項目1 診療機能の高度化					
(1) がん医療					
p5	外来化学療法件数	丹波	1,300件 → 1,778件	◎	呼吸器内科医常勤化等による増
		こども	220件 → 278件	◎	小児がん患者の受入れ増加による増
p7	ダヴィンチ(内視鏡下手術用支援機器)による手術件数	がん	130件 → 216件	◎	新規施設基準取得により対象術式(肺、膀胱)が増えたことによる増
(2) 循環器疾患医療					
p11	急性期リハの件数(心疾患)	丹波	1,100件 → 1,469件	◎	外来心臓リハ患者の増加に伴う対象患者の増
	経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)の件数	姫路	53件 → 85件	◎	開心術と比較し低侵襲であり、当該術式を積極的に採用したことによる対象患者の増
(4) 精神医療					
p14	外来アルコール依存症プログラムの実施	こころ	68件 → 299件	◎	【コ】計画時は感染対策のため一部中止を予定していたが、人数を制限して継続実施したことにより増加
(5) 救急・災害医療					
p16	救急車搬送患者数のうち重篤患者数	西宮	747人 → 924人	◎	【コ】受診控えに伴い重篤化してから搬送されてくる患者が増加
		災害	779人 → 1,131人	◎	【コ】患者の受入れ制限を行う他院をカバーしたことによる対象患者の増
(6) 小児・周産期医療					
p19	ハイリスク妊婦数	淡路	40人 → 63人	◎	妊娠の高年齢化等による対象患者の増

資料2 頁	取組項目	病院名	計画 → 実施	評価	理由 【コ】：新型コロナウイルスによるもの
p20	2,500g未満の新生児実入院患者数	こども	180人 → 353人	◎	【コ】神戸中央市民病院の通常診療制限に伴い当院での出生数が増加し、そのまま当院に入院する未熟児等が増加
(7) リハビリテーション医療					
p22	患者1人1日実施単位数の拡大(一般(手術))	リハ中	2.2単位 → 2.7単位	◎	単位数増に努めた結果として増加
(8) その他の政策医療					
p25	アレルギー専門外来の患者数	こども	3,000件 → 3,788件	◎	新規・紹介患者の増
	透析の件数	丹波	900件 → 1,407件	◎	透析対応入院患者の増
項目4 研究機能の充実					
p30	治験の件数	西宮	4件 → 8件	◎	依頼件数の増
		こども	13件 → 19件	◎	依頼内容と対象患者が合致する案件が多かったことによる増
		姫路	17件 → 21件	◎	対象患者が少なく継続案件が増加したことによる増
II 安心できる県立病院の実現					
項目1 地域医療連携の推進					
p33	地域医療連携室等の退院調整件数	淡路	2,655件 → 3,199件	◎	退院調整を要する患者の増
		こども	600件 → 760件	◎	病院全体で積極的に取組んだことによる増
		がん	1,270件 → 2,265件	◎	病院全体で積極的に取組んだことによる増
		姫路	1,600件 → 3,109件	◎	病院全体で積極的に取組んだことによる増

3 取組項目のうち計画を下回ったもの【主なもの】 ※病院名に「計」とある項目の各病院の計画・実績値は【資料2】を参照

資料2 頁	取組項目	病院名	計画 → 実施	評価	理由 【コ】：新型コロナウイルスによるもの
I より良質な医療の提供					
項目1 診療機能の高度化					
(1) がん医療					
p4	5大がんの手術総件数	淡路	348件 → 222件	△	【コ】スタッフの感染患者対応に伴う検査・手術の制限・延期や病床数の減少等により、特に消化器系の件数が減少
p5	地域がん診療拠点病院におけるセミナー等実施回数	計	11回 → 1回	▲	【コ】感染状況を考慮し中止
p6	緩和ケア病棟（病床）延入院患者数	加古川	5,597人 → 1,322人	▲	【コ】病床転用等に伴う患者の受入れ制限による減
		淡路	80人 → 58人	△	主科で症状緩和対応が可能となってきた
		がん	1,150人 → 426人	▲	【コ】病棟閉鎖等に伴う患者の受入れ制限による減
(2) 循環器疾患医療					
p9	大動脈瘤ステント術の件数	淡路	30件 → 20件	△	開腹手術の増加に伴う対象患者の減
		姫路	117件 → 90件	△	【コ】感染患者対応に伴う不急手術の延期等による減
p10	血栓溶解療法（t-P A）の件数	西宮	8件 → 5件	△	【コ】対象患者の受入れ要請時に発熱者の対応をしており、受入れできなかったケースがあり減少
		加古川	1件 → 0件	▲	【コ】病床転用に伴う患者の受入れ制限による減
		淡路	12件 → 8件	△	【コ】感染者に対応するEICUの病床を確保するため、EICUでの管理が不要な抗血栓薬治療等を選択するケースが増えたことにより減少

資料2 頁	取組項目	病院名	計画 → 実施	評価	理由 【コ】：新型コロナウイルスによるもの
p11	地域連携パスの運用件数(脳血管疾患)	西宮	45件 → 26件	▲	認知症等のパスの適用が困難な合併症患者の増等に伴う対象患者の減
		加古川	8件 → 6件	△	【コ】病床転用に伴う患者の受入れ制限等による減
		淡路	118件 → 86件	△	
		姫路	264件 → 177件	△	パスの適用がない病院(急性期、療養型等)への転院患者の増に伴う対象患者の減
(3) 糖尿病医療					
p12	糖尿病教育入院の実患者数	尼崎	213人 → 144人	△	【コ】病床転用に伴う患者の受入れ制限や受診控えに伴う減
		加古川	118人 → 56人	▲	
		淡路	13人 → 2人	▲	
		姫路	137人 → 85人	△	
(4) 精神医療					
p13	新規入院患者数	尼崎	48人 → 26人	▲	【コ】病床転用に伴う救急患者の受入れ制限や精神病院からの転院依頼件数の減少等に伴う減
		淡路	156人 → 94人	△	治療薬の充実等による総合失調症の軽症化等による対象患者の減
		こころ	900人 → 598人	△	【コ】受診控えに伴う減

資料2 頁	取組項目	病院名	計画 → 実施	評価	理由 【コ】：新型コロナウイルスによるもの
p13	救急医療センター入院患者数	こころ	413人 → 189人	△	【コ】感染患者受入れに伴う救急病棟休止による減
	精神科救急医療システムからの入院患者数	こころ	76人 → 37人	△	
(5) 救急・災害医療					
p16	救急車搬送患者数のうち重篤患者数	加古川	590人 → 223人	▲	【コ】病床転用に伴う患者の受入れ制限や社会活動自粛に伴う事故件数の減等による対象患者の減
		淡路	700人 → 407人	▲	
		姫路	1,214人 → 949人	△	
p17	広域災害訓練等の開催・参加回数	計	46回 → 19回	▲	【コ】感染状況を考慮し中止（他機関主催分を含む）
(6) 小児・周産期医療					
p19	小児の救急車搬送患者数	尼崎	3,075人 → 1,858人	△	【コ】感染対策に伴うインフルエンザ患者等の減
		丹波	300人 → 140人	▲	
		淡路	181人 → 96人	▲	
		こども	1,800人 → 1,169人	△	
p18	母胎搬送受入数	西宮	120人 → 82人	△	医師（周産期）の減少に伴い妊娠32週未満の患者の受入れを停止したことによる減
		淡路	5人 → 2人	▲	【コ】発熱者や接触者等の受入れ制限による減

資料2 頁	取組項目	病院名	計画 → 実施	評価	理由 【コ】：新型コロナウイルスによるもの
(7) リハビリテーション医療					
p21	人工関節センターにおける人工関節置換術件数	リハ中	320件 → 190件	▲	【コ】受診控えに伴う対象患者の減
(8) その他の政策医療					
p25	アレルギー専門外来の患者数	尼崎	1,500人 → 672人	▲	【コ】病床転用に伴う患者の受入れ制限や受診控えによる対象患者の減
		西宮	965人 → 568人	▲	
		加古川	1,505人 → 894人	▲	
	腎臓移植の実施件数	西宮	18件 → 12件	▲	【コ】免疫力低下を考慮し、移植を選択しない患者（透析治療を選択）の増加による減
項目4 研究機能の充実					
p29	受託研究の件数	淡路	11件 → 2件	▲	依頼件数の減
		姫路	53件 → 37件	△	
		粒子線	4件 → 3件	△	対象となる患者がいなかったことによる減
		神戸 陽子	2件 → 1件	▲	依頼件数の減

資料2 頁	取組項目	病院名	計画 → 実施	評価	理由 【コ】：新型コロナウイルスによるもの
<b>Ⅱ 安心できる県立病院の実現</b>					
項目1 地域医療連携の推進					
p33	医療機器の共同利用件数	尼崎	1,096件 → 816件	△	【コ】病床転用に伴う患者の受入れ制限や受診控え等に伴う依頼件数の減
		西宮	700件 → 418件	▲	
		加古川	700件 → 386件	▲	
		丹波	1,450件 → 1,140件	△	
		淡路	1,011件 → 625件	△	他院で機器の購入が進んだことに伴う依頼件数の減
		姫路	150件 → 68件	▲	【コ】病床転用に伴う患者の受入れ制限や受診控え等に伴う依頼件数の減
	研修会（医療従事者向け）の件数	計	228回 → 36回	▲	【コ】感染状況を考慮し中止
講演会（地域住民向け）の件数（地域医療支援病院によるもの）	計	41回 → 1回	▲		
項目2 医療安全対策等の推進					
p36	医療安全研修の実施回数（病院局主催分）	—	1回 → 0回	▲	【コ】感染状況を考慮し中止
項目3 患者サービスの向上					
p38	入院前検査センターにおける入院及び検査説明件数	姫路	3,100件 → 1,562件	▲	【コ】不急手術の延期の伴う対象患者の減
項目4 医療の信頼性の向上					
p42	講演会等の開催回数	計	55回 → 24回	▲	【コ】感染状況を考慮し中止

資料2 頁	取組項目	病院名	計画 → 実施	評価	理由 【コ】：新型コロナウイルスによるもの
<b>Ⅲ 持続可能な経営の確保</b>					
項目2 収益の確保					
(1) 患者の受入れ促進等					
p47	救急搬送患者数	—	29,866人 → 21,928人	△	【コ】病床転用に伴う患者の受入れ制限や社会活動自粛に伴う事故件数の減等により減少
(2) 診療機能に見合う収益の確保等					
p51	診療情報管理士資格の新規取得者	—	10名 → 6名	▲	認定試験受験予定者への働きかけ不足
項目3 費用の抑制					
p53	給与費の適正化（抑制）	—	抑制 → 増加	△	丹波医療センターの稼働病床の増など診療機能拡充に伴う医師・看護師等の増員、 【コ】新型コロナウイルス感染症対応特殊勤務手当の増等
p54	委託費の抑制	—	抑制 → 増加	△	丹波医療センターの通年化等による増等
<b>Ⅳ 安定した医療提供体制の確立</b>					
項目2 医師確保対策の推進					
p56	医師の海外学会での研究発表に対する支援（旅費・参加費等の補助）	—	実施 → 中止	▲	【コ】感染状況を考慮し中止
項目4 地域医療連携の推進					
p59	職種別研修や階層別研修の効率的な実施	—	実施 → 中止	▲	【コ】感染状況を考慮し中止